



令和8年度本格運行スタート！

当会では、お一人でバスやタクシーといった公共交通機関を利用することが困難な町民の皆さまを対象に、移動の不安を解消し住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、令和8年度より「福祉有償運送事業」を本格的に始動いたしました。

運行の開始にあたっては、町民の皆さまに長く親しみを持ってご利用いただけるよう、送迎車で使用する愛称の公募を行いました。募集期間中にはたくさんの、そして心のこもった素晴らしいアイデアをお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。

お寄せいただいたたくさんの応募作品の中から、6月4日に開催された理事会において厳正なる審査を行い、その結果、新しい愛称は『ほのぼの号』（吉田好宏さま命名）に決定いたしました。この愛称には「乗る方に、安心や癒やしを感じてほしい」という、大変温かい想いが込められています。吉田好宏さまへは、心からの感謝を込めて表彰状と記念品をお贈りさせていただきました。これからはこの「ほのぼの号」が、移動に不安を抱える皆さまのおかけを温かくサポートする頼もしいパートナーとして、皆さまのご自宅から深川市立病院までをしっかりと結び、沼田―深川間を走ります。

「ほのぼの号」は、ただ目的地まで機械的にお送りするだけでなく、移動に不安を抱える方の心に寄り添った丁寧なサービスを心掛けております。運行日時は毎週月曜日から土曜日までの週6日間となっており、皆さまの通院生活を幅広くサポートいたします。運行にあたっては、午前と午後にそれぞれ往復の運行便を設定しており、お一人ずつの状況に合わせてドア・ツー・ドアで安全第一での送迎を行います。さらに車内には、移動中の安全確保や乗降のお手伝いを行う見守りスタッフが同乗いたしますので、車いすをご利用の方や足元に不安がある方でも、安心してご乗車いただけます。

本事業の対象となるのは、沼田町内にお住まいの方で、単独での移動が困難であり公共交通機関の利用が難しい方々です。具体的には、身体障害者手帳をお持ちの方や人工透析患者の方、介護保険において要介護認定を受けている方をはじめ、精神障害や知的障害、内部障害などによって他人の介助なしには外出が難しいと認められる方が該当いたします。なお、サービスを利用される際には事前の登録が必要となりますので、まずは社協事務局までお気軽にご相談ください。職員が聞き取りやチェックリストによって対象要件などを確認したうえで申請手続きを行い、登録が完了した後に完全予約制にてご利用が可能となります。利用料金は片道1,000円、往復で2,000円と、明確で安心な設定となっております。

社協独自の取り組みとして、これまでの生きがいデイサービス事業や地区サロンといった町受託事業、そして安心電話サービスや配食サービスとともに、この「ほのぼの号」を新たな福祉の柱として位置づけ、きめ細やかな在宅高齢者・障害者支援を総合的に推進してまいります。

町の中で「ほのぼの号」を見かけた際は、ぜひ温かく見守っていただけると嬉しいです。今後とも「ほのぼの号」ならびに沼田町社会福祉協議会をどうぞよろしく願いいたします。



▲愛称『ほのぼの号』をご考案いただいた吉田好宏さまと松田会長

令和7年度決算、令和8年度事業計画・予算

令和8年3月24日に開催されました「第2回評議員会」において、令和8年度の事業計画および事業活動収支予算が審議され、原案通り承認されました。今年度も住民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「安心・安全・福祉のまちづくり」を目指し、様々な事業を展開してまいります。

【令和8年度の基本方針】

国が目指す「地域共生社会」の実現に向け、制度や分野の枠を超えて地域住民や多様な主体がつながり、ともに創っていく地域社会を目指します。近年、複合化・複雑化する生活課題（ひきこもり、ヤングケアラー、生活困窮など）へ柔軟に対応するため、包括的な支援体制の構築を意識しながら地域福祉を推進いたします。また、町が掲げる「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の基本理念に沿い、「自立支援・介護予防の推進」「生きがいづくりと多世代交流の推進」「在宅支援サービスの充実」「権利擁護支援の充実」に向け、持てる機能を最大限に活かして取り組んでまいります。

★地域福祉・高齢者福祉促進事業、福祉施設事業の運営★

①地域福祉実践計画の実施

地域の生活課題を皆さまと共有し、役割分担や協力体制を明確にしながら、社協の活動が誰にでも分かりやすい“見える化”を進めてまいります。

②地域就労支援事業（みなジョブ）の拡大

これまで高齢者中心だった就労対象を「町民全世代」へと拡大します。働く意欲を持つ方々へ、草刈りや除雪といった活躍の場を斡旋し、仕事を通じた生きがいづくりと地域貢献を目指します。

③地域交流食堂事業

「ちいき交流ひろば」の『みんなの食堂』は、多世代が集える楽しい交流の場です。今年度はこれまでの交流機能に加え、「見守りや相談につながる拠点」として役割を強化します。

④ボランティア活動の場の推進

ボランティア活動を活発にするため、個人登録の促進に力を入れます。活動内容を分かりやすく整理し、皆さまの経験やあたたかい思いが地域のなかで最適に活かされるよう、丁寧な調整と場の提供に努めます。

⑤高齢者福祉事業（在宅支援）

生きがいデイ等の町受託事業や、今年度より本格運用を開始した「福祉有償運送事業」で交通弱者への支援を強化します。さらに安心電話や配食サービスなど、社協独自のきめ細かな在宅高齢者支援を推進してまいります。

⑥福祉施設事業の運営

ケアマネ、ヘルパー、デイサービスが連携を深め、「みんなに寄りそう社協」を基本に質の高いサービスを届けます。ICT活用など職場環境の改善と経営の安定化を図り、町民の安心な在宅生活を支えます。

令和7年度決算

会計区分	収入	支出	収支差額
法人運営事業	15,533,059	10,149,672	5,383,387
受託事業	964,830	964,830	0
地域福祉推進事業	1,986,861	1,986,861	0
訪問介護事業	13,089,516	14,214,202	-1,124,686
生きがいデイサービス事業	2,964,227	2,964,227	0
沼田町デイサービスセンター事業	34,023,432	35,665,260	-1,641,828
地域就労支援事業	8,301,327	7,469,952	831,375
居宅介護支援事業	7,779,820	10,074,223	-2,294,403
暮らしの安心センター事業	27,375,656	27,375,656	0
合 計	112,018,728	110,864,883	1,153,845

令和8年度予算

会計区分	収入	支出	収支差額
法人運営事業	12,411,000	10,335,000	2,076,000
受託事業	922,000	922,000	0
地域福祉推進事業	2,278,000	2,278,000	0
訪問介護事業	16,061,000	16,026,000	35,000
生きがいデイサービス事業	2,973,000	2,973,000	0
福祉有償運送事業	1,862,000	1,937,000	-75,000
沼田町デイサービスセンター事業	41,436,000	41,444,000	-8,000
地域就労支援事業	7,329,000	7,334,000	-5,000
居宅介護支援事業	7,932,000	9,373,000	-1,441,000
暮らしの安心センター事業	31,500,000	31,500,000	0
合 計	124,704,000	124,122,000	582,000

沼田町共同募金委員会からお知らせ

共同募金の不祥事に関するお詫びと今後のご協力をお願い

日頃より、当地域における「赤い羽根共同募金」をはじめとする様々な地域福祉活動に、多大なるご理解と温かいご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

皆様からお寄せいただく善意は、地域の在宅高齢者を支える活動やボランティア活動への支援など、草の根の福祉活動を支える大切な財源として活用されてまいりました。

しかしながら、本年6月15日、上部組織である社会福祉法人北海道共同募金会において、1億8千万円にのぼる多額の使途不明金が発生していることが公表されました。

道民の皆様の大変貴重な善意を踏みにじる行為であり、日頃から地域で募金活動に携わっている関係者一同、この事態を非常に重く受け止めております。地域の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけし、信頼を著しく損ねてしまいましたことを、深くお詫び申し上げます。

【現在の状況とこれまでの経緯について】

事案の発端は本年2月、会計責任者であった前事務局長（以下、当該職員）の所得税法違反嫌疑に関して国税局の査察が入り、会計資料が大量に押収されたことにあります。その後の調査で預金口座と帳簿残高に巨額の差違があることが判明いたしました。多額の預金口座を一人に任せ、現場や理事会の監督体制が機能していなかったことが主な原因です。

当該職員はすでに懲戒解雇処分となっており、今後、横領の事実が確定しだい、刑事告訴および損害賠償請求が行われます。また、数ヶ月以内に再発防止策の策定や組織体制の刷新に全力で取り組むこととされております。

しかし、不祥事による地域福祉への影響は深刻であり、一時停止していた助成金の交付について、事務費削減や積立金取り崩し等の緊急対応が取られたものの、現在は当初申請額の「約50%程度」しか交付されない見込みとなっており、地域の活動に非常に大きな影を落としています。

【今後のご協力をお願い】

このような深刻な状況を招いた中、大変勝手なお願いであることは重々承知いたしております。しかしながら、共同募金に支えられている福祉活動を停滞させるわけにはまいりません。

私たちは、失われた信頼を一つひとつ、誠実な活動をもって取り戻していく所存です。地域の福祉の灯を消さないために、どうか今後とも変わらぬご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026 年沼田町限定ピンバッジの頒布開始について

今年度の募金活動におきましても、本町の歴史的な節目や地域の歩みを反映した3種類の限定ピンバッジを作製しました。

①② 夜高あんどん50回記念「第1回商工会あんどん」&「第1回農協あんどん」

今年度で第50回の節目を迎える「夜高あんどん祭り」の原点である、第1回目に参加した「商工会」と「農協」のあんどんを再現いたしました。2つのバッジを並べることで一対のデザインとなる仕様となっております。（※なお、製作上の都合により、2つのバッジが隙間なくぴったりと接合する仕様ではございません。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます）

③ 「旧石狩沼田駅」

本年3月の留萌本線廃止に伴い、長年親しまれた役割を終えた「旧石狩沼田駅」の駅舎をデザインしたものです。

これらのピンバッジは、窓口等にて500円以上の募金にご協力いただいた皆様へ、感謝のしるしとしてお渡しいたします。

皆様からお寄せいただいた募金は、当町の高齢者支援やボランティア活動など、地域福祉を維持するための大変貴重な財源となります。

組織の不祥事により大変厳しいお叱りをいただく中、誠に心苦しいお願いではございますが、当町の福祉活動を停滞させないため、何卒温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



▲夜高あんどん50回記念ピンバッジ



▲旧石狩沼田駅デザインピンバッジ

ぬ また 社 協 ニ ュ ー ス

第2回地域の笑顔をつなぐ講演会

3月12日、合同会社うえるかむの池田ひろみ氏を講師に迎え、「誰もが安心して暮らせる地域を目指して」をテーマに講演会を開催しました。

池田氏は、「誰かとつながっている」と思える安心感や、困った時に相談できる存在の大切さを強調。「迷惑をかけたくない」と頑張りすぎるのではなく、助けてもらった次は自分が誰かを助けるという「お互い様」の気持ちで、温かく住みやすい街を作っていくと語られました。池田先生の優しく力強い言葉に、会場全体が温かな雰囲気に包まれるひとときとなりました。



まちを綺麗に、心も晴れやかに

5月10日、「クリーン沼田空き缶回収一斉運動」が開催されました。本運動は、沼田町、沼田町自治振興協議会、そして沼田町社会福祉協議会の3団体が共催して毎年実施している環境美化活動です。

当日は五月晴れの絶好の活動日和となり、多くの町民の皆さまにご参加いただきました。また、別日には各老人クラブ会員の方たちにも各地区のごみ拾いを行っていただきました。

ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました！



春のドライブ【生きがいデイサービス】

5月14日の快晴の中、生きがいデイサービスでは滝川市方面へのドライブを実施しました。

江戸乙の菜の花畑では、見渡す限りの黄色い絨毯を前に「きれい!」と皆さま大感激。心地よい春風を感じながら、心安らぐ散策を楽しみました。

お楽しみの昼食は「びっくりドンキー」へ。賑やかにおしゃべりを弾ませながら、格別の味を堪能されました。帰路には雨竜町の道の駅でソフトクリームを味わい、お腹も心も満たされた笑顔いっぱいの春の一日となりました。



ありがとうございます。あなたの善意大切にします。

尊い浄財は、有効に活用させていただきます。大変ありがとうございました。

順不同・敬称略

寄付金申込者	寄 付 金 額	摘 要	その他
須網 敏子	50,000	故・須網 賢一 様 葬儀に際して	みんなのパントリー食料品寄付、みんなの食堂食材等寄付、amazon 応援プログラム支援品どうもありがとうございます。
市橋 静代	100,000	故・市橋 忠晴 様 葬儀に際して	
福島 修	10,000	故・福島 富枝 様 葬儀に際して	
伊藤 榮子	30,000	故・伊藤 幸夫 様 葬儀に際して	
谷口 信子	30,000	故・谷口 隆裕 様 葬儀に際して	
田島 博幸	50,000	故・田島フミ子 様 葬儀に際して	
越智 聡	30,000	故・越智カツ子 様 葬儀に際して	
大池 昭博	10,000	故・大池ツヤ子 様 葬儀に際して	
原 寛	10,000	故・原 政子 様 葬儀に際して	
北浦 峰行	30,000	故・北浦 キヨ 様 葬儀に際して	
得能 祐子	30,000	故・得能 義廣 様 葬儀に際して	
宮田 文子	50,000	故・宮田 精一 様 葬儀に際して	
沼田町商工会青年部	50,000	チャリティービールパーティー益金寄付	